



ロータリー特別月間

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間／米山月間	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

2023-24年度 地区年間カレンダー

2023年		
7月22日(土) 午後	クラブ米山委員長・カウンセラー研修会	大阪府社会福祉会館
8月 5日(土) 午後	クラブ職業奉仕委員長会議	大阪府社会福祉会館
8月26日(土) 午後	クラブ青少年奉仕合同委員長会議	大阪YMCA国際文化センター
9月 2日(土) 午後	ロータリー財団セミナー	大阪YMCA国際文化センター
9月16日(土) 午後	クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議	大阪YMCA国際文化センター
10月 7日(土) 午後	公共イメージ向上セミナー	大阪YMCA国際文化センター
11月 3日(金・祝) ～ 5日(日)	秋のRYLAセミナー (ホスト：くずはRC)	ホテル・ロジック舞洲
12月 8日(金) ～ 9日(土)	地区大会	ザ・リッツ・カールトン大阪&NHKホール
2024年		
1月27日(土)	地区ロータリー財団補助金管理セミナー	大阪YMCA国際文化センター
2月 3日(土)	IM第4組ロータリーデー (ホスト：東大阪RC)	シェラトン都ホテル大阪
2月10日(土)	2024-25年度のための地区チーム研修セミナー	シティプラザ大阪
2月17日(土)	IM第2組ロータリーデー (ホスト：千里RC)	千里阪急ホテル
3月 2日(土)	M第1組ロータリーデー (ホスト：池田くれはRC)	不死王閣
3月16日(土)	2024-25年度のためのPETS (会長エレクト研修セミナー)	シティプラザ大阪
3月23日(土)	IM第3組ロータリーデー (ホスト：大阪鶴見RC)	YES THEATER
4月13日(土)	IM第5組ロータリーデー (ホスト：大阪船場RC)	大阪国際会議場
4月20日(土)	2024-25年度のための地区研修・協議会	大阪国際会議場
	春のRYLAセミナー (2023-24年度は開催なし)	—
5月11日(土)	IM第6組ロータリーデー (ホスト：大阪平野RC)	ホテルモントレ グラスミア大阪
5月18日(土)	2024-25年度のための地区会員増強セミナー	大阪YMCA国際文化センター
5月25日(土) ～ 29日(水)	国際大会	シンガポール

ロータリー財団 補助金管理セミナー 報告

ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長

新堂 博

(大阪城北RC)

日時：2023年1月28日(土) 14:00～17:00

開催：大阪YMCA及びZoom

ロータリー財団補助金申請にあたり、参加資格の認定を受けて頂くための毎年開催される当セミナーを対面及びZoomにて開催しました。会場には106名の方が参加、Zoomでは164名の方々にご参加頂きました。当日の概要とプログラムは下記のとおりです。

宮里唯子 ガバナー (茨木西RC)

開会点鐘及び挨拶、財団管理委員会の決定事項としてロータリー財団の変更点を解説されました。

特別月間の変更、新設されたポリオプラス・ソサエティ、会員が主導する救援活動に直接寄付が可能になるパキスタン洪水救援基金創設、戦争による人道危機に取り組むためのウクライナ救援基金創設、定期寄附について説明。感謝と御礼をこめてと締めくくられました。

延原健二 ガバナーエレクト (大阪大淀RC)

2023-24年度重点目標として「戦争で傷ついた人への人道的支援」「コロナ禍で傷ついた子供や若者への支援」(心の健康向上につながる支援)についてお話を頂きました。

ロータリー財団委員会委員長 村橋義晃 (大阪中之島RC)

「次年度クラブリーダーのために」

クラブリーダーの皆様をお願いしたいこと、補助金管理セミナー開催の目的、地区財団委員会小委員会からのお知らせ、これからの補助金利用の留意点について説明を行いました。

資金推進小委員会委員長 明石 晃 (大阪西RC)

「財団寄付と認証」

補助金の原資となる寄付への理解と協力、年次基金寄付と恒久基金寄付の違い及び、財団寄付への理解と意義、税制上の優遇措置、ロータリークレジットについて説明を行いました。

補助金小委員会委員長 新堂 博 (大阪城北RC)

「次年度の財団補助金プログラム」

補助金を活用して頂けるよう、財団の方針、地区補助金における留意事項、グローバル補助金の概略、RACの補助金プログラム参加要件について説明をしました。



資金管理小委員会委員長 相馬康人 (八尾RC)

「財団補助金の管理・運用」資金管理委員会の主たる活動内容、補助金管理・運用上の不備事例（報告書上、散見される問題点）補助金の適切な活用のための留意点、及びクラブから頂いた質問について説明をしました。

特別講演 整形外科医 戸田佳孝氏 (大阪中之島RC 会長エレクト)

「日本のポリオ後症候群を知り、世界から根絶の決意を再確認しよう」と題してポリオ根絶のについての解説。15年以上経って起こる高齢者のポリオ後症候群、生ワクチンから感染した若いポリオ患者、ポリオ後（ポストポリオ）症候群（PPS）、日本のポリオ患者をとりまく問題点などを解説して頂きました。

今回の講演内容の一部は、ロータリーの友3月号に掲載予定とのことです。

ポリオプラス小委員会委員長 近藤佑介 (大阪心斎橋RC)

「ポリオ根絶」と題し、ロータリーの最優先項目であるポリオを根絶する理由、ポリオ根絶の為にやるべき事、ポリオ寄付への理解、ポリオ寄付「ゼロ」クラブを「ゼロ」に！と協力をお願いしました。

奨学金小員会／平和フェローシップ委員長 塚本 英 (大阪北梅田RC)

「財団奨学金プログラム」

グローバル補助金奨学生、平和フェローシップの募集案内、2022-23年度（24年度派遣）グローバル補助金奨学生の紹介がなされました。

パストガバナー／公益財団法人ロータリー日本財団理事 立野純三PG

講評と閉会のご挨拶。宮里唯子ガバナーの閉会点鐘の後、各クラブよりMOUの提出をして頂きました。

開催にあたりご協力を頂いた方々、対面出席、Zoom視聴して下さいました方々に感謝申し上げます。



ロータリー財団 2023-24年度のための 地区補助金申請受付開始

ロータリー財団委員会
委員長 **村橋 義晃**
(大阪中之島RC)

ロータリー財団 補助金小委員会
委員長 **新堂 博**
(大阪城北RC)

2023-24年度のための地区補助金の申請受付を2023年3月1日より開始致します。

ロータリークラブおよびローターアクトクラブは、延原ガバナーエレクトの次年度施策、「戦争で傷ついた人への人道的支援」と「コロナ禍で傷ついた子供や若者への支援-心の健康向上につながる支援」を中心に地区補助金活動を立案下さい。

	ロータリークラブ	ローターアクトクラブ
申請資格	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年1月に開催した地区ロータリー財団補助金管理セミナーにクラブの代表者が出席していること(オンラインでも可)。 ② クラブの覚書を地区に提出済みであること。 ③ クラブの前年度年次基金寄付実績に応じて補助金の配分率が変わるため、事前に確認しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 2023年1月に開催した地区ロータリー財団補助金管理セミナーにクラブの代表者が出席していること(オンラインでも可)。 ② クラブの覚書を地区に提出済みであること。 ③ 2022-23年度にロータリー財団から「ローターアクト寄付達成証」を受領していること。
申請手続	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区ウェブサイトより、2023-24年度 地区補助金申請書(Excel版)をダウンロードして必要事項を入力して下さい。申請書は4種類(社会奉仕活動、人道的国際奉仕活動、奨学金、職業研修)から、該当するものを選択下さい。 ② 地区補助金申請書と見積書等必要書類を添付の上、メールにてガバナー事務所(yano@ri2660.gr.jp)に提出して下さい。(原本は不要です) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区ウェブサイトより、2023-24年度 地区補助金申請書「社会奉仕活動」(Excel版)をダウンロードして必要事項を入力。 ② 地区補助金申請書と見積書等必要書類を添付の上、メールにてガバナー事務所(yano@ri2660.gr.jp)に提出して下さい。(原本は不要です)
受付期間	2023年3月1日～ 4月30日	2023年3月1日～ 4月30日

【地区補助金申請の留意点】

- 活動が、「ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件」を満たしていることを事前にご確認下さい(RIおよび当地区ウェブサイトよりダウンロード可)。
- 当地区の「財団補助金申請ハンドブック」の地区補助金該当箇所を熟読のうえ申請下さい(当地区ウェブサイトよりダウンロード可)。
- ローターアクトクラブは当地区の「2023-24年度 RACのためのロータリー財団補助金申請要件」も併せて参照下さい(当地区ウェブサイトよりダウンロード可)。
- 申請期間内であっても補助金予定額の上限に達した場合は、申請受付を停止致しますので、ご了承下さい。
- 詳細は既に各ロータリークラブ、ローターアクトクラブに送信致しました「2023-24度 ロータリー財団地区補助金申請受付開始のお知らせ」をご確認下さい。

地区補助金に関するご質問は、地区ロータリー財団 補助金小委員会までお問い合わせ下さい。



2023-24年度のための 地区チーム研修セミナー

2023-24年度
地区代表幹事**前田 要之助**

(大阪東淀ちゃやまちRC)

日 時：2023年2月18日(土) 13:00~15:35

会 場：大阪国際会議場 3階 イベントホール

出席者：宮里G、松本新太郎PG、高島PG、泉PG、松本進也PG、片山PG、山本PG、四宮PG、簡PG、
吉川秀隆直前G、延原GE、大橋GN、ガバナー補佐エレクト6名、ガバナー補佐ノミニー4名、
他地区役員、地区委員、RAC地区役員 合計191名

2023-24年度のための地区研修セミナーは3年ぶりに全員マスク着用、手指消毒などの感染対策を十分に
に行い、完全対面方式で行われました。

宮里Gの開会点鐘、ご挨拶で始まり、延原GEによる2023-24年度国際ロータリー会長テーマと第2660地
区運営・活動方針が発表されました。その後、各委員会事業予算・決算について2023-24年度片桐地区財
務委員長から、地区組織・地区行事・各委員会取り決め事項について2023-24年度前田要之助地区代表幹
事から説明がありました。そして委員会別協議を各員会で行っていただきました。

最後に大橋秀典GNよりご挨拶があり、宮里Gの点鐘で閉会となりました。

まもなく始まる新しい年度に向けて、委員長をはじめとする各委員会の皆さんの熱いエネルギーを感じる
一日となりました。

延原GE / 2023-24年度国際ロータリー会長テーマと第2660地区運営・活動方針

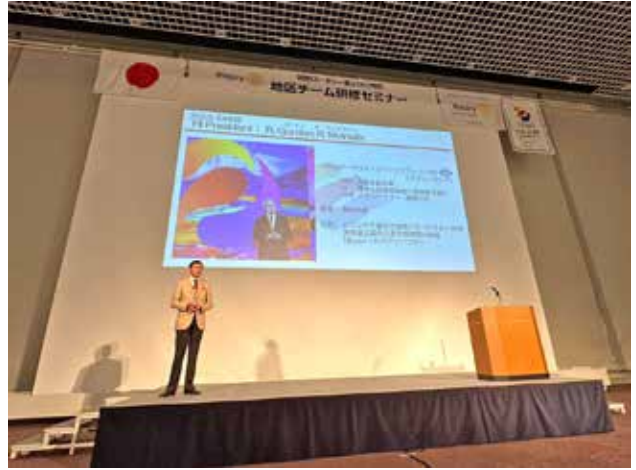
2023-24年度 R. Gordon R. McNally (ゴードン R. マッキーナリー) 国際ロータリー会長テーマは「Create
Hope in the World 世界に希望を生み出そう！」です。

RI次年度会長は、国際ロータリーが推進してきた事業を継続させつつ変化に対してオープンで前向きに取り
組む姿勢を示され、継続では「平和の推進」、変化では「メンタルヘルスへの取り組み」の必要性を強調され
ました。

「平和の推進」については、ウクライナの人々へのさらなる人道的支援の必要性を、一方の「メンタルヘルス
への取り組み」については、コロナのパンデミック後の分裂により、最も傷ついている子供と若者のメンタル
ヘルス面での支援の必要性を説明されました。そして、「他人のメンタルヘルスを改善させるとおのずと自ら
のメンタルヘルスも改善され幸せが増すため、これら2つを推進すると、世界と自分自身の中に平和が訪れ
ます。平和は希望が根付くための土壌となるため、世界に希望を生み出すことが出来ます」と次年度テーマ
について説明されました。

RI会長テーマならびに方針、地区の中期目標などを考慮したうえで、延原GEは次のような年次目標を示し
ました。(年次目標：別紙掲載)

最後に、「2023-24年度は、大阪の地にロータリーが誕生して101年目に当たります。当地区の未来に向
けた新たな第1歩を皆様方と共に踏み出せることを楽しみにしています」と締めくくりました。





2023-24年度のための 会長エレクト研修セミナー (PETS)

2023-24年度
地区代表幹事**前田 要之助**

(大阪東淀ちゃやまちRC)

日 時：2023年3月4日(土) 13:30~17:35

会 場：大阪国際会議場 12階 特別会議場 (完全対面方式)

出席者：宮里G、PG10名、延原GE、大橋GN、吉川GND、AGE6名、AGN5名、RAC次年度地区役員7名、
クラブ会長エレクト75名、衛星クラブ議長エレクト3名、RAC次年度会長22名、その他39名、
合計171名**宮里 G / 開会点鐘、挨拶****延原 GE / 2023-24年度国際ロータリー会長テーマと第2660地区運営・活動方針**

ゴードン R. マッキナリーRI会長テーマ：「世界に希望を生み出そう!」

マッキナリー氏講演：紛争の影響を受けている人への人道的支援を行い、コロナにより傷ついた子供や若者へのメンタルヘルス面でのサポートが必要です。他人のメンタルヘルスを改善させると自分のメンタルヘルスも向上します。このため、これら2つの活動を推進すると世界と自分自身の中に平和が訪れます。ロータリーは人々に希望を与えることが出来ます。世界と自分自身の中の平和を築き、世界に希望を生みだそう!

RIの合同目標、当地区の中期計画などの説明に続いて、23-24年度の当地区におけるガバナー方針(年次目標：別紙掲載)が示されました。

立野 大阪・関西万博関連事業実行委員会委員長 / 大阪・関西万博関連事業について

大阪の夢洲で開催される2025日本国際博覧会(略称 大阪・関西万博)の概要説明と実行委員会内の「総務/財務委員会」「フェロシップ事業小委員会」「国際/青少年小委員会」が計画している事業内容、事業推進スケジュール、予算案などについて説明されました。

片桐 23-24年度地区財務委員長 / 予算案の概況説明**前田 23-24年度地区代表幹事 / 地区組織・行事 各クラブへの依頼事項****山本 地区研修委員会委員長 / クラブ会長の責務**

ロータリー活動の主役はクラブであること、クラブ会長の任務、急激に変化していくRIの方針に対して、主体的に対応していくにはクラブビジョンが必要であることなどを説明されました。

23-24年度地区委員会(片山 危機管理委員長、伊藤 公共イメージ向上委員長、村橋 ロータリー財団委員長、魚谷 米山奨学委員長)からの報告**村岡 23-24年度地区大会実行委員長/地区大会PR****大橋 GN / ガバナーノミニエ挨拶****吉川 GND / ガバナーノミニエ・デジグネート挨拶****宮里 G / 閉会点鐘**

セミナー後の懇親会では、活発な交流があちらこちらでみられ、各クラブ会長エレクトの次年度のクラブ運営へ意気込みが感じられました。懇親会の最後には恒例の「手に手つないで」をエアーで行い、心を一つにすることができました。





2023-24年度のための 地区研修・協議会（本会議、部門別協議会）

2023-24年度
地区代表幹事

前田 要之助

(大阪東淀ちゃやまちRC)

日 時：2023年4月8日(土) 12:30～17:00

会 場：大阪国際会議場(対面方式)

登録者：958名

ホストクラブ：大阪大淀RC

第1部 本会議

●延原GE 23-24年度 次年度RI会長テーマ・地区方針

タイで津波に合い、家族、家屋、家財、すべてを失った女性との出会い。そこで、会長は「ロータリーは人々に希望を与えることができる」ことを確信しました。

会長は、RIが行ってきた「平和の推進」の継続と、「メンタルヘルスへの取り組み」を新たに行うことを表明し、「世界に希望を生み出そう」という次年度テーマを発表しました。

発表されたガバナー方針(次年度年次目標)は、別紙の通りです。

●立野PG/大阪・関西万博関連事業実行委員長 大阪・関西万博関連事業について

1. 万博参加推進に繋がる事業
2. 大阪の魅力を発信する事業
3. 青少年交換事業

これら3つの事業内容、事業推進スケジュール、予算(案)の説明がありました。

●四宮PG/2022年RI研修リーダー、第3地域ロータリー財団コーディネーター補佐

クラブで取り組めるRI優先事項

「平和の推進」「メンタルヘルスへの取り組み」という2つの次年度RI会長イニシアチブについて、各クラブが取り組む意義や今日までの事例紹介がありました。

その後、大橋秀典GNのご挨拶、吉川健之GNDのご挨拶に続き、2023-24年度地区大会の映像を交え、大阪大淀RC村岡正啓実行委員長から地区大会へのご案内と参加の呼びかけがありました。

第2部 部門別協議会

- 会長・幹事部門(リーダー：立野PG、吉川PG、延原GE)
- SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー部門(リーダー：宮里G)
- 職業奉仕部門(リーダー：松本(進)PG)
- 国際奉仕・社会奉仕部門(リーダー：簡PG)
- ローターアクト/青少年奉仕部門(リーダー：片山PG)
- ロータリー財団部門(リーダー：四宮PG)
- 米山奨学部門(リーダー：山本PG)

立野PGの講演中、万博の公式キャラクターのミャクミャクが飛び入り参加し、会場を盛り上げ楽しい雰囲気の会議となりました。

ホストクラブである大阪大淀RCが中心となり、地区幹事団がサポートする形で万全の態勢で当日に臨みましたが、不行き届きな点もあったかと思えます。ご容赦ください。

次年度が希望溢れる1年になるように祈念しております。



別紙



2023-24 年度 年次目標

2023-24年度ガバナー 延原 健二（大阪大淀RC）

1. より大きなインパクトをもたらす

- ❖ 世界ポリオデーにポリオ根絶にちなんだRAC中心のイベントを行い、ロータリーファミリー、RCと協働し、発信します。
- ❖ 財団補助金(地区補助金・グローバル補助金)活動を実施し、発信します。
- ❖ ロータリアンは財団寄付目標(年次基金寄付150ドル、ポリオプラス基金寄付50ドル、恒久基金寄付30ドル)を達成します。
- ❖ RACは、クラブ又は個人からの寄付合計\$100の財団寄付を達成します。

2. 参加者の基盤を広げる

- ❖ 既存のパートナーシップを強化し、新たなパートナーシップを築きます。
- ❖ 革新的クラブ、活動分野に基づくクラブ(衛星クラブ)の設立をめざします。
- ❖ ロータリーとロータリー会員は世界を変える行動人であるという認識と理解を深めます。

3. 参加者の積極的なかわりを促す

- ❖ クラブのビジョンや中期計画を作ります、あるいは必要に応じて見直します。
- ❖ 例会、フォーラム、研修、IMロータリーデー、フレッシュ・ロータリアン研修交流会、その他行事をさらに魅力的な学びの機会とし、会員参加促進を目指します。
- ❖ RCとRACの参加者の連携を強めます。
- ❖ DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」へのコミットメントを強化します。
- ❖ クラブや個人のロータリーの賞の受賞を目指します。
- ❖ 米山記念奨学会を支援します（ロータリアンは寄付目標30,000円）。

4. 適応力を高める

- ❖ テクノロジーを利用して例会を実施し、交流や親睦を深め、奉仕活動を実行します。
- ❖ 会員全員が My Rotaryに登録し、RIからの情報収集に努めます。



2023-24年度のための 地区会員増強セミナー 報告

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

樋口 武英 (大阪東RC)

2023年5月20日 13:30～16:00 大阪YMCA国際文化センターで久しぶりに制限なしでのセミナー開催をすることが出来ました。当日宮里ガバナーが体調不良のためご欠席で延原ガバナーエレクトの点鐘でセミナーがスタートしました。

セミナー出席者は地区関係出席者43名、クラブ出席者137名の合計180名となりました。

発表者の皆様のご協力のおかげで予定通り時間内に終わることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

延原ガバナーエレクトから当セミナーの趣旨説明があり、そのあと2022・23年RI研修リーダーの服部陽子様(東京広尾RC)に1時間「公共イメージ向上とクラブ活性化」という新しい切り口でクラブ活性化について特別講演をしていただきました。

その中で「これからのロータリーは誰もが満足できるクラブの実現と人に語りたくなるクラブ」との話は大きな指針でした。また服部様からの「ロータリーを1分以内で語ると」・「ロータリーは150文字で書くと」の問いかけは、ハッとしたのは私だけではなかったと思います。

延原ガバナーエレクトの次年度方針のひとつに、少人数クラブの奉仕活動の協業が有ります。それを受けて、次年度委員長として、「自然界の群れの習性」をヒントにしたビジネスモデル「群れの経営」の話をもとにした、少人数クラブの活性化の提案をさせていただきました。

後半のクラブ活動事例報告は、大阪御堂筋本町RCの岡田俊作様より「合併の目的と進め方」をテーマに苦労話を交えながら現在の状況報告を頂きました。次の高槻西RCの下園大介様には「少人数クラブの魅力あるクラブづくり」をテーマに長期スパンでの取り組み説明を力強く報告頂きました。そして、大阪西南ロータリークラブの松崎勝司様には「衛星クラブ創設について」をテーマに衛星クラブとは何かの説明から始まり、効果について報告頂きました。

そして講評は2022年RI研修リーダーでパストガバナーの四宮孝郎様にいただきました。

いつもながらウイットに富んだ素晴らしいお話で無事にセミナーを終えることが出来ました。ありがとうございました。





クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会 副委員長

大道一弘 (大阪城東RC)

日 時：2023年7月22日(土) 14:00～16:00

会 場：大阪府社会福祉会館 5階

参加者：延原健二G、松本進也PG、山本博史PG、簡仁一PG、大橋秀典GE、
ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト、地区幹事、クラブ米山奨学委員長、
カウンセラー、地区米山奨学委員

クラブ米山奨学委員長・カウンセラー研修会が7月22日(土) 大阪府社会福祉会館に於いて総勢111名(兼務者含)の参加者で延原健二Gの点鐘で開催されました。

司会のハツ橋地区米山奨学委員による資料確認及び出席者紹介からスタート。

延原健二Gはご挨拶で、米山奨学生とロータリアン(カウンセラー)の心の交流から、奨学生は奉仕の精神を学び職業感、人生感を高めることができる事、自分が生きている間に社会に役立つ人を育てる事の大切さ、そして米山奨学生の方々が卒業してから270人の方がロータリアンになり、ロータリー精神を持った多くの人が世界で人の為に活躍している事などをお話されました。そしてロータリーの地区ビジョンが世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に務める素晴らしい活動である。このように若い人たちを育てる事業が、まさに米山奨学制度であると、その素晴らしさ伝え、挨拶を締めくくられました。

続いて、魚谷健司地区米山奨学委員長がカウンセラー研修として、米山奨学事業の概要とロータリー米山記念奨学金の特徴について説明、また世話クラブのカウンセラーの役割、2022-23年度寄附金額、最後に奨学生に関わる危機管理について説明をしました。

次に台湾米山学友の関口大樹さんより、台湾学友会にお世話になった事について、米山奨学生として留学する事の心強さ、海外留学と米山奨学金の力について、また、恩送りの素晴らしさについてお話がありました。休憩をはさみ、後半は関西米山学友会(関西)会長 頼育萱より学友会の活動について、またメンター制度について報告がありました。

次に、米山奨学生学友会(関西) 頼育萱会長、台湾米山学友 関口大樹さん、地区米山奨学委員会 魚谷健司委員長、坂田妙子カウンセラー4人による座談会があり、その中で頼会長がメンターとカウンセラーの違いを説明、関口学友からは、台湾のカウンセラーの接し方について、どうすれば奨学生とカウンセラーの距離を縮められるか、また奨学期間が終わった後、交流を続けるにはどうすれば良いか等のお話がありました。

座談会の後は、地区RYLA委員会 富永 明委員長、中島 一副委員長が秋のRYLAセミナーのご案内、地区ロータリーアクト委員会 中島茂夫委員長からは、10月22日(日)に開催される「END POLIO NOW チャリティハロウィンパーティー」の告知がありました。

最後にロータリー米山記念奨学会 評議員 松本進也PGより顧問挨拶があり、閉会となりました。



クラブ職業奉仕委員長会議 報告

職業奉仕委員会 委員長

安松谷博之 (大阪城北RC)

日時 2023年8月5日(土) 午後1時30分～3時30分

会場 大阪府社会福祉会館401号室

2023年8月5日、クラブ職業奉仕委員長会議を開催させていただきました。

当日は、各クラブ職業奉仕委員長71名、地区関係者29名、合計100名の方にご出席いただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年までの3年間はハイブリッド開催でしたが、本年は対面で開催することができました。

冒頭、延原健二Gより、大阪RC会員であった松下幸之助氏の言葉を用いて、「職業・仕事」というのは「社会がそれを必要としているからこそ成り立つものである。社会にやらせてもらっていると言うことができる。」と「職業」と「社会」の結びつきを説明いただき、職業奉仕の重要性についてご挨拶を頂きました。

次に、委員長の私から、地区職業奉仕委員会の活動方針と本日の趣旨説明として、本日の会議を含め地区委員会として、出来る限り各クラブの職業奉仕委員長に職業奉仕についての理解を深めていただき、各委員長自らクラブで卓話やフォーラムの実践に役立てていただきたいと思いますとお願ひさせていただきました。

続いて、地区委員会が準備した卓話モデルとして、近藤太郎副委員長から「職業奉仕入門」、大和田雅江副委員長から「ロータリーの職業奉仕 歴史と変遷」を説明させていただきました。

その後、4年ぶりとなるグループディスカッションを行いました。6～7名で構成される11グループに分かれ、各クラブが計画している職業奉仕活動について、どのような考えを持って実践していくのかについて議論をしていただきました。各グループとも非常に活発な意見交換や質疑応答が行われたように感じました。

グループディスカッション終了後、職業奉仕活動の実践例として、大阪中之島RCの戸田佳孝会長をゲストスピーカーにお迎えし、「合同出前授業(医療系シンポジウム)」を紹介いただきました。これは2つのクラブが協力し合同で行った職業奉仕活動の事例であり、各クラブ委員長にとって大変参考になったと思います。

最後に、四宮孝朗PGより顧問挨拶があり、「ロータリーの原点は職業奉仕である。「奉仕」とは「Service」であり、相手のニーズを満たしてあげることである」と、職業奉仕(Vocational Service)の本質的な部分についてお話しいただきました。

今回のクラブ職業奉仕委員長会議におきましては、ご多忙の中、クラブ委員長の皆様に事前アンケートをお願いするなどお手数をお掛けしました。ご出席、ご協力いただきました皆様に心より感謝し、この場を借りて御礼申し上げます。





クラブ青少年奉仕合同委員長会議 報告

青少年奉仕統括委員会 委員長

大橋秀典 (東大阪東RC)

日 時：2023年8月26日(土)

場 所：大阪YMCA会館

出席者：各クラブの青少年奉仕担当者と地区関係者

開会点鐘とご挨拶：延原健二 G (大阪大淀)

青少年奉仕部門の横の繋がりを強化し、エンドポリオチャリティーハロウィンパーティーを実施し、ポリオの認識とロータリーのイメージ向上に繋げる。

趣旨説明：青少年奉仕統括委員会 委員長 大橋秀典 (東大阪東)

我々の地区でも会員減少が深刻です。青少年奉仕を積極的に行き、若い力を取り入れ、ロータリーファミリーとともに魅力あるロータリー活動を行えば、おのずと退会もなくなり、ロータリーファミリーからロータリアンを生み出し、たくさんの増強に繋がると思います。

今日の会議での話を聞いて、クラブに持ち帰ってもらい楽しい青少年奉仕を通じて、皆様のクラブが活性化されることを期待します。

第一部

川上克己 R財団委員会、ポリオ・プラス小委員会 委員長 (大阪中央) よりロータリーとポリオ。

濱崎洋介 地区ローターアクト代表 (大阪北RAC) よりチャリティーハロウィンパーティーについて。

久松秀雄 青少年交換委員長 (大阪御堂筋本町) より青少年プログラムと来日学生の紹介が行われました。

第二部

富永 明 RYLA委員長 (吹田)、中島 一 副委員長 (くずは) によるRYLAセミナーを活用した青少年奉仕。

中嶋茂夫 RA委員長 (大阪中央) による激変するローターアクト。

佐藤多加志 IA副委員長 (大東) による4年ぶりの研修旅行in福島県。

魚谷健司 米山奨学委員長 (大阪西南) による米山奨学事業について。

坂田淳一 学友委員長 (枚方) による学友会について。

片山 勉 危機管理委員長 (大阪東) によるロータリーの危機管理。

以上の発表がありました。

顧問挨拶：簡 仁一 P G (茨木)

閉会点鐘：延原 健二 G (大阪大淀)

今年から青少年交換が始まり来日学生の紹介があったが、新鮮で良かったです。彼ら彼女らには良い経験をしてほしい。

また、2023年10月22日(日)開催のポリオチャリティーイベントには出来るだけたくさんの方にご参加いただきたく思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

紙面の都合で概略報告としています。



ロータリー財団セミナー 報告

ロータリー財団委員会 委員長

村橋義晃 (大阪中之島RC)

2023年9月2日(土)大阪YMCAにおいて開催され、延原DG、井上PDGをはじめ地区役員及びクラブから会長、財団委員長など160余名の出席登録を頂き、全てのプログラムを終了したことをご報告申し上げます。

延原DGの開会挨拶のなかで、今年度のポリオデーの活動について、企画から開催に至るまでの全てをRACに託し、若い感性と熱意によって「ポリオ根絶」への熱いメッセージを発信したい、そして、ロータリアンはこの活動を全面支援し、将来への熱い期待をRAC会員の皆さんに贈られること等、開催に向けた思いを熱く語られました。

地区財団委員会の各小委員会から財団への寄付が何故必要か、クラブにご利用頂く財団補助金についての留意事項等の説明を行い、ご利用頂いた財団補助金の管理について、定められたルール順守のお願いをさせて頂きました。

後半のプログラムでは、財団奨学金プログラムの概要説明や過去の財団奨学生が国際機関での勤務状況の報告や今後の活躍が期待できる優秀な奨学生を育てるために支援を続けていることを報告させて頂きました。

最後のプログラムでは、ポリオ根絶は「ロータリーの最優先課題」であり、このプログラムが成功し根絶が確認されるまで、他のRIプロジェクトは検討されない旨のRIのメッセージを改めて紹介致しました。

続いて「新型コロナからポリオ根絶の理解」について、RI D2770・PDG・DRFC小林 操様が、同日開催であったご自身の地区財団セミナーを欠席され、埼玉県から当セミナーご講演のためにご来訪下さいました。

ご自身が小学校一年生の夏にポリオ罹患されてから現在に至るまでの思いをお聞かせ下さり、ロータリー活動では、ガバナーや地区財団委員長などを歴任され、ご自身が経験されたからこそ成し遂げられたロータリーでの事業や小児期のご母堂様の深い愛情から得られた思い等、出席されたすべての方々にポリオ根絶への強いメッセージを贈って頂きました。

最後に公益財団法人ロータリー日本財団幹事の井上暎夫パストガバナーの閉会ご挨拶として、ご来訪下さった小林PDGに謝辞を述べられ、ロータリー日本財団の創設に至る経緯をお話し頂き、本日の財団セミナーを閉会致しました。

本日のセミナー発表内容は、当地区ホームページに掲載致しますので、ご参照頂ければ幸いです。

最後になりましたが、ご出席下さいました地区役員及びクラブの皆様と本セミナーの開催に際し、ご尽力頂きました地区関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議 報告

国際・社会奉仕委員会 副委員長

山崎修一 (大阪鶴見RC)

2023-24年度 クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議が、9月16日(土) 14時~16時、大阪YMCA 国際文化センター2階 大ホールにて、地区役員、地区国際・社会奉仕委員会、各クラブの社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、RACの皆様、合わせて約170名余が参集して開催されました。

冒頭、延原健二Gより開会挨拶において、2022年5月にウクライナ難民を支援したいとポーランドへ飛びたった、勇気ある右近いろはさん(2023-24年度 第2660地区青少年交換学生)のお話、ウクライナ支援をする団体とのパートナーシップを組むことの重要性、大阪城南RCが実施するウクライナ人の米山学友を通じた支援などの紹介がありました。

続いて、地区国際・社会奉仕委員会、徳上洋之委員長より、以下の三つの趣旨説明がありました。

(趣旨1) 適応力を高め奉仕活動をしてみよう (コロナ禍、インターネット・SNS、その他の変化に適應)

(趣旨2) 補助金を活用してより大きなインパクトのある奉仕活動をしてみよう

(趣旨3) RI会長方針、ガバナー方針をもとに「参加者の基盤を広げ、誰でも参加できる奉仕活動」として、ウクライナ人道支援プロジェクト、コロナ禍で傷ついた子供達への支援プロジェクトの紹介

この(趣旨3)を反映した具体的事例として、大阪西北RCが実施する「未来」「夢」をテーマに子どもたちに働きかける「有意義で魅力ある奉仕プロジェクト virtual絵画展」、大阪ユニバーサルシティRCが2024年3月19日(火)に六甲国際ゴルフ倶楽部にて実施予定の「ウクライナ支援ゴルフコンペ」という、二つの奉仕活動について報告がありました。2024年5月に開催されるシンガポール国際大会における大阪地区ナイトの案内もそれに続きました。

次に(趣旨2)を受けて、「今さら聞けない補助金申請の素朴な疑問」と題して、徳上洋之委員長が、地区ロータリー財団委員会、補助金小委員会の新堂博委員長と対談形式で質疑応答をするセッションがあり、興味深いテーマが取り上げられました。紙面の関係で、そのうちの三つをピックアップします。

- 補助金申請について主な修正依頼は？ → 日付や署名の記入漏れ、見積書の添付漏れ、その他
- 学校などの団体において奉仕活動をする場合、受益者である子ども達は毎年入れ替わるので毎年同じところに支援するのは可能なのでしょうか？ → 支援先の自立を目指しているので「継続事業」は認められない。単年度では完了できない場合は○力年計画として申請する。期間の延長は不可。
- ウクライナ支援で注意すべき点は？ → 軍事支援がなされていないかの確認、地雷除去も禁止

など、多くの意義ある質疑応答が行われました。また補助金申請の前に『補助金ハンドブック』の一読をする必要があることが強調されました。

さらに大阪府健康医療部 生活衛生室 薬務課 麻薬毒劇物グループ 山内祥子様より「薬物乱用の現状と大阪府の啓蒙活動について」ご説明をいただきました。

そして、(趣旨1)の適応力を高めた奉仕活動に関連して、地区RA広報委員長の中山湧斗さんからはRACのSNS(特にInstagramとLINE)運用の実際について、また地区RA委員長の中嶋茂夫さんからはSNS運用のポイントについてお話がありました。

最後に片山勉PGより顧問挨拶として、各クラブが中心となって奉仕活動を行うことの大事さ等を含めて総括していただき、延原Gの閉会点鐘で予定していたすべてのプログラムが終了いたしました。





公共イメージ向上セミナー 開催報告

公共イメージ向上委員会 委員長

伊藤 芳晃 (大阪南RC)

開催日時：2023年10月7日(土) 13時30分～15時00分

会 場：大阪YMCA国際文化センター2階ホール

参 加 者：各クラブ会長・広報委員会委員長、地区関係者 計163名

延原Gの「会員数が伸び悩むロータリーの現状を打破するための標語が、『ロータリアンは世界を変える行動人』である。我々は、この言葉を胸に、誇りと自信を持って行動し、どんな困難に直面しても人々の手を携え多くの希望を生み出す。そんな1年にしたい。」という挨拶から、本セミナーは開会しました。

最初に、委員長の私から、公共イメージ向上による好循環など公共イメージ向上の基本的な考え方を説明した後、当委員会の各担当者から、その具体的手法をセッション1～4に分けて発表しました。

まず、「よりインパクトのある情報発信」の具体的手法として、セッション1で下出一副委員長が「SNSによる積極的な発信」と題して、セッション2では佐々木博史委員が「メディアの有効利用～地域メディアでの情報発信」と題して発表を行いました。

このうちセッション2は、新聞、地上波TV等よりも取材される可能性が高いケーブルTV等の地域メディアによる広報の方法や実例をご紹介したものです。今年度の当委員会でも、ケーブルテレビ2社に積極的にアプローチを行い、地区RAC主催の「END POLIO NOW チャリティハロウィンパーティー」(10月22日開催)が、J:COM社の番組『ジモト トピックス プラス』で事前告知が行われたほか、Baycom社では、上記チャリティイベントに加えRYLA(11月3日～5日)の様子を映像に収めるなど当地区の活動を特集した番組「このまち夢いっぱい」が12月に放送される予定です。是非、各クラブの皆様も、事業の広報にあたってはかかるアプローチをご参考にいただければと思います。

セッション3では、大島規弘副委員長から、一般の人々にロータリーの活動であることをひと目で認識してもらう観点でロータリーのロゴを正しく使う必要があること及び具体的なルールを説明しました。

さらに、当委員会では、公共イメージ向上には、対外的広報だけでなく、クラブ自身が充実・活性化し、会員にとっても魅力的な存在であることが必要と考えています。その観点から、セッション4では、田原至委員が、ロータリー賞獲得の効用に加えて、奉仕活動のヒントやロータリーの有意義な情報が満載されたRIのサイトMy ROTARYについて説明を行いました。

最後に、R3 ARPICでもある簡仁一PGから、ロータリアン各自が自信と誇りを持って、知人や地域の方にロータリーのことを伝えていく、それが公共イメージ向上につながることを説かれ、セミナーを閉会しました。詳しい内容は、地区ホームページにアップしております。是非、ご覧ください。



セッション1：
佐々木博史委員



セッション2：
下出一副委員長



セッション3：
大島規弘副委員長



セッション4：
田原至委員





秋のRYLAセミナー 報告

RYLA委員会 委員長

富永 明 (吹田RC)

日 時：2023年11月3日(金祝)・4日(土)・5日(日)

場 所：大阪リゾートホテル・ロッジ舞洲

主 管：くずはRC

テーマ：原点回帰から未来行動へJUMP!

参加者：受講生 59名・Team RYLA 7名

ロータリアン(全日参加) 30名・ロータリアン(日帰り参加登録) 227名

秋のRYLAセミナーが11月3日～5日の2泊3日の行程で、見事な秋晴れの下、開催いたしました。今年度は、これまでの秋、春の年2回開催から秋のみの年1回開催となりましたが、18歳から32歳までの受講生59名の参加となり、過去最大規模でのRYLAセミナーとなりました。

11月2日、延原健二Gの点鐘からの開講式では、延原Gが受講生に対する熱いメッセージを述べられた後、受講生代表の決意宣言からRYLAセミナーが開始されました。

開講式直後の基調講演では、今年度、延原Gが掲げるメンタルヘルスにも係るメンタルトレーニング指導でオリンピックアスリートの金メダル獲得を導かれた実績を持つ、飯山昶朗氏の熱くも楽しい圧巻の80分に、受講生のみならず、参加ロータリアンにも期待が高まる3日間の幕開けとなりました。

基調講演を終え、本地区が誇る過去のRYLAセミナー受講経験者から組織されるTeamRYLAが周到に準備した本格的な研修プログラムがスタートしていきました。

基調講演をなぞらえるかのように構成されたプログラム。当初、各受講生は、緊張感もあった上、互いに年齢、性別、職業、文化などさまざまな違いを持つことから、戸惑う場面が多く見られていました。

しかし、次々に出される課題を克服していくうちに、徐々に相互を認め合い、尊重し合い、チームが形成されていくようになり、参加したロータリアンの誰もが驚きと感心、感動を覚えていくこととなりました。

これらの様子は、正にロータリーが掲げる DEI (Diversity多様性、Equity公平性、Inclusion包括性) の実践であり、これからの時代を担う若きリーダーに、ロータリーの目的を理解してもらえらる貴重な体験であり、受講生の成長を通じて、ロータリアンも再認識できる機会となりました。

最後に、今回のRYLAセミナーの開催にあたり、主管頂きましたくずはRCの皆様、地区役員の皆様、ご参加頂いたロータリアンの皆様、プログラムを運営頂いたTeamRYLAの皆様、そして、RYLA委員会の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。1976年6月に日本のロータリーで初めてRYLAセミナーを開催した本地区は、これまで蓄積されてきたノウハウを生かしながら、他地区に誇れるセミナーを開催していますので、地区内のロータリアンの皆様、是非、次のRYLAセミナーにご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。





2023-24年度国際ロータリー第2660地区

地区大会

2023年12月8日 **金** ・9日 **土**



CREATE HOPE
in the WORLD

世界に希望を生み出そう

1 日
12月8日(金)

ザ・リッツ・カールトン大阪

〒530-0001
大阪市北区梅田2-5-25
TEL.06-6343-7000

12:00 ~ 13:30 顕彰者記念撮影・昼食会
14:00 ~ 受付
15:00 ~ 15:40 開会式
16:00 ~ 17:30 分科会 I 会長・幹事部門
16:00 ~ 17:30 分科会 II
16:00 ~ 17:30 分科会 III
18:00 ~ 20:30 RI会長代理歓迎晩餐会

2 日
12月9日(土)

NHK大阪ホール

〒540-8501
大阪市中央区大手前4-1-20
TEL.06-6937-6000

12:00 ~ 受付
13:00 ~ 15:00 本会議 第1部
15:15 ~ 17:00 本会議 第2部

ホストクラブ:大阪大淀ロータリークラブ

登録料: 会 員/5,000円(ご家族無料) 晩餐会登録料: お一人/20,000円



世界に希望を生み出そう

コロナのパンデミック、ロシアのウクライナ侵攻。
世界のいたるところで、分裂、分断が進んでいます。影響は人々の生活や心の内面にまで及んでいます。
孤立に怯える人がいます。傷つき悲しむ人がいます。助けを求める事すら出来ない人がいます。
多くの人が支援を望んでいます。
今年度の地区大会のコンセプトは希望です。
暗黒に希望の灯りを見出した人。笑顔で希望を届ける人。希望を伝え広げる人。
心に希望の灯りをともしましょう！
そして、世界に希望を生み出しましょう！
皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。



2023-24年度
国際ロータリー第2660地区
ガバナー **延原 健二**



1st day
ザ・リッツ・カールトン
大阪

分科会 I 会長・幹事部門

16:00 ~ 17:30

東京大学先端科学技術研究センター
教授
講師： **福島 智**

福島 智(ふくしま さとし、1962年12月25日 -)は、日本のバリアフリー研究者。東京大学教授(博士(学術)、東京大学)。専門は、バリアフリー教育、障害学、障害者福祉、アクセシビリティ。

社会福祉法人全国盲ろう者協会理事。世界盲ろう者連盟アジア地域代表。世界で初めて常勤の大学教員となった盲ろう者。

来歴

兵庫県神戸市出身。生後5ヶ月で眼病を患い3歳で右目、9歳で左目を失明する。18歳のときに特発性難聴で失聴し全盲ろう者になる。そのため、18歳までの音の記憶が残っており、自分の声を聴くことはできないが、よどみなく口で発話することができる。実際、講義や講演会でも発声して話している。神戸出身のため日常生活では関西弁を話す。また、ピアノの演奏も行う。

母・令子の考案した指点字を使い会話とコミュニケーションをはかる。指点字は全国の盲ろう者に広く知られ、盲ろう者のコミュニケーション手段の新たな選択肢となる。

盲ろう者として日本で初めて大学へ入学(東京都立大学人文学部)。金沢大学教育学部助教授、東京大学先端科学技術研究センター准教授を経て現職。

1st day
ザ・リッツ・カールトン
大阪

分科会 II ●シンポジウム 「奉仕活動と会員増強の意外な関連性」

16:00 ~ 17:30



1st day
ザ・リッツ・カールトン
大阪

分科会 III ●講話・エクスカーショ 「希望をつなぐ奉仕の心」

16:00 ~ 17:30

テノール歌手
講師： **橋本 恵史**

大阪音楽大学大学院修了。ドイツ・ハンブルク音楽院を最高点で終了。テノール歌手。カンボジアを中心とした途上国の音楽教育発展のために国内外において演奏活動を続けている。



1st day
ザ・リッツ・カールトン
大阪

RI会長代理 歓迎晩餐会

18:00 ~ 20:30

ヴァイオリニスト/作曲家
川井 郁子

香川県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。現在大阪芸術大学教授。国内外の主要オーケストラや世界的音楽家たちと共演。全国各地およびカーネギーホール、パリ・オペラ座、ワシントンDC公演など国際的に活躍。日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞。



End day
NHK大阪ホール

本会議 ●記念講演

13:00 ~ 17:00



映画作家
講師： **河瀬 直美**

生まれ育った奈良を拠点に映画を創り続ける。一貫した「リアリティ」の追求はドキュメンタリーフィクションの域を超え、国内外で高い評価を受ける。大阪・関西万博のプロデューサー兼シニアアドバイザー、ユネスコ親善大使を務める他、DJ、エッセイ執筆など幅広い表現活動を続けている。



2023-24年度 地区大会 報告

地区大会 幹事

白野 孝明 (大阪大淀RC)

去る12月8日(金)、12月9日(土)にRI会長代理 辰野克彦様をお迎えして行われた地区大会についてご報告申し上げます。

今回の大会は今年度のテーマである「世界に希望を生み出そう」を大会テーマとし、「希望」をコンセプトに行いました。1日目はザ・リッツ・カールトン大阪を会場とし、600名の参加者で開会式を行い、クラブ寄付表彰を行いました。

分科会Ⅰの会長・幹事部門では、制定案の決議や大会決議案の上程・審議を行い、その後、奈良県立医科大学医学部看護学科 教授 太田豊作先生に「子どもや若者のメンタルヘルス」について講演を行って頂きました。

分科会Ⅱでは「奉仕活動と会員増強の意外な関連性」をテーマにロータリアンによる発表を行い、JC、RAC、ロータリー学友会のロータリアン以外から見たロータリーのことについてパネルディスカッションを行いました。

分科会Ⅲではテノール歌手 橋本恵史様による、途上国支援の活動や音楽演奏、さらに元米山学友 バヤンバット・トゥメンデルゲル様に世界初のRACによるGG申請・承認へご協力を頂いたことについて講演を行って頂きました。どの会場も多数のご参加を頂きましたことお礼申し上げます。

その後、RI会長代理を歓迎し400名の皆様と晚餐会を行いました。ヴァイオリニスト川井郁子様によるスペシャルコンサートは、和楽器の笛と鼓による共演で、日本人の心に響く新たな感動を得ることが出来ました。演奏終了後には会場全体にスタディングオベーションが湧き起りホストクラブとして喜んでおります。

2日目は1270名の出席登録を頂き、NHK大阪ホールにて開催しました。本会議においては延原Gによる地区現況報告、RI会長代理 辰野克彦様による・RI現況報告を行って頂き、大会決議案の採択、前年度決算報告、そして各種の表彰を行いました。続いて2部では第2660地区にかかわる二人の若者を映像で報告し、その後 映画作家 河瀬直美様による「希望への道」と題した記念講演を行って頂きました。河瀬様は強い信念をもって行動されており、大阪・関西万博やユニセフの活動など、人々に希望を与える活動をされていることを知り、感銘を受けるとともに感動する講演を行って頂きました。

最後に延原Gより、ウクライナから避難されている方々への支援など我々なりに希望を与える活動を行いましょう。という提言をもって大会を締めくくりました。

地区大会の無事終了にあたり、多くのご来賓のご参加、並びにご関係の皆さま方のご協力に感謝申し上げます。



大会 1 会長・幹事部門



分科会III 講話・エクスカーション

